

---

# 創造と想像

きらきらキノコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

創造と想像

### 【Nコード】

N7373P

### 【作者名】

きらきらキノコ

### 【あらすじ】

光を失った世界にいる「ぼく」。  
自分の居場所が分からない中、「ぼく」は友達を見つけろ……。  
世界観の形式がなくなった「喪失の世界」で、ふたりはなぜ存在しているのか？

(前書き)

消化不良だと思いますが、ぜひご一読を。

歩く。  
どのようにして？  
歩く。  
いつ？  
いま。  
どこまで？  
いきどまりまで。  
だれが？  
自分が。  
なぜ？  
・・・道が続いているから。

闇を歩く「ぼく」は、ある「光」を手にする。それは何も見えなかった。「ぼく」に世界を与えてくれた。  
しかし、光が絶えたいま、「ぼく」は世界を失った。  
顔の一部分が温かい。それが下に伝染していく。それが、同時に「ぼく」の一生の友たち、「こころ」の誕生を意味する。  
「こころ」が楽しさを感じれば、「ぼく」も一緒に笑ってあげた。  
「こころ」が悲しさを感じれば、「ぼく」も一緒に泣いてあげた。  
とても気が合う友たちを持った。それが「ぼく」の生きがいであった。

ある日、「ぼく」は「こころ」に尋ねる。  
「・・・君は、いつたいどこにいるの」  
答えが返ってこない。

「・・・君は・・・光なの」  
・・・違う。

「・・・君は・・・誰なの」

・・・ぼくは・・・。

(無言)

(後書き)

僕たちは生まれた時から、ひとりじゃない。ということ婉曲に表現したのですが、どうでしょうか

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7373p/>

---

創造と想像

2010年12月28日16時44分発行